

# 旧学校施設等利活用に係る地域意見交換会 報告書

施設名 旧福田小学校、福田幼稚園  
自治会名 福田自治会

## 1 自治会選出メンバー

11名（50歳未満割合46%、女性割合27%）

## 2 意見交換会の実施経過 ※場所はいずれも福田公民館、18：30開始

回数	実施日	参加者	内容
1	令和4年10月20日	11名	自由意見交換
2	令和4年11月10日	7名	自治会役員アンケートの内容確認
3	令和5年 1月26日	10名	自治会、子ども・若者アンケートの結果
4	令和5年 2月21日	9名	意見まとめ案確認、追加意見
5	令和5年 3月15日	9名	地域意見交換会報告書最終確認、まとめ

## 3 地域の魅力

農業、畜産等の産業

- ・米、野菜（ミニトマト、たらの芽等）、花き（小菊、アンスリウム等）
- ・シャモ、酪農等の畜産
- ・養蚕

豊かな産業や人材を育んできた背景

- ・川俣に養蚕の技術を伝えたという小手姫伝説の残る女神山
- ・養蚕が盛んで古くから機織業を営む家が多く存在した
- ・歴史的に重要な位置であることを示す広畑遺跡や小館跡、点在する土塁跡等
- ・羽田の一面の桑畑の中で育まれた明治の南画家 中村桑陰氏
- ・国会議員、弁護士や医師などの優れた人材を生み出した風土
- ・スポーツ分野におけるオリンピック出場選手など、世界に羽ばたく人材を輩出

## 女神山や駒ザクラなどの魅力的な自然環境

- ・「うつくしまふくしま百名山」の一つで、登山道が整備されている女神山
- ・樹齢500年以上といわれる秋山の駒ザクラ。町指定天然記念物であり写真スポットとしても有名。
- ・カタクリやシュンラン、薬草などの植物も多くみられる

## 立地条件の良さ

- ・福島市（県庁）まで車で30分（信号少ない）
- ・伊達市月舘町、伊達市霊山町からも道路が整備されており、アクセスがよい

## 地域住民の人柄

- ・十二社団地の造成による羽田地区の平均年齢の若返り
- ・地域住民の結束力が強い
- ・盆踊りなどの魅力ある地域イベントの実施
- ・女神山や駒ザクラなどの観光資源や地域間交流などの地域活性化に対する住民の意識が高い

## 4 地域の課題

- ・少子高齢化。高齢者の一人世帯の増加、全体的な人口減少。
- ・農業等の担い手不足、耕作放棄地の増加
- ・観光施設がない
- ・地区公民館、集会所の設備が古く、畳の部屋などは高齢者には使いづらい
- ・コロナ禍によりイベント等が行われず連帯感が薄くなった。
- ・福田公民館の日当たりが悪く、坂道が凍結する。
- ・楽しい教室の際、公民館から学校へ道路を横切るのが危険。

## 5 施設としての特徴【基本情報】

### (1) 旧福田小学校

- ・昭和54年3月建築（築44年経過）

鉄筋コンクリート造の処分期間60年に対して44年が経過しているが、学校時代にある程度はメンテナンス（修繕）が入っており、それなりの寿命があると考えられる。

- ・福田地区の中心に位置する。
- ・他の学校と大きく異なる点はオープンスペースでなく、個室で区切られていること。

- ・ 3階建てだが、理科室、多目的室等の機能ルームが3階に集中している。
- ・ 福田公民館より日当たりがよい。
- ・ 学校の東側に照組で実施した美しい植樹がある。
- ・ グラウンドの整備が不十分。

## (2) 福田幼稚園

- ・ 昭和53年12月建築（築44年経過）

令和5年12月をもって鉄筋その他造の処分期間45年を経過する。かつ耐震不適合のため、閉園後は解体して土地のみの利用とする。

- ・ 幼稚園舎及びプールを解体した場合、相当な面積の更地の確保ができるため、駐車場のみならず、小規模の建物等の新設も視野に入れた利活用が期待できる。

- ・ 外部の方よりデザインがよい、使い勝手がよさそうとの声があった。